

## 病院運営協議会議事録（令和5年度第4回）

日 時	令和6年2月15日（木）			13時30分 ～ 15時10分
場 所	講堂	進行	鎌田会長	
出席者	協議会委員	鎌田、笹原、本村、福田、西村、服部、伊藤、小林、斎藤、岩崎、荻原（各委員敬称略）		
	市立病院	井上院長・藤田診療部長・門脇看護部長・三国薬剤部長・竹村総務部長・赤久保企画部長・仁賀田事務長・宮澤総務課長・横井医事課長・長島経営企画室長・角事務部主幹・高橋患者総合支援室長		
	説明者 オブザーバー			
欠席委員		書記	総務課 堀口	

（敬称略）

### 議事録

1. 開会挨拶	
【挨拶】 鎌田会長	
	風が強い日ですが、お集まりいただきありがとうございます。本日もどうぞよろしくお願いたします。感染予防の観点から本日の議事も簡潔に進めて参ります。
2. 病院長挨拶	
【挨拶】 井上院長	
	病院の概況についてお話しさせていただきます。
	初めに、1月1日に能登半島地震がありました。当院は、12日から1週間ほどロジスティックス担当が災害のトリアージとして石川県に行き、病院の物資補充等を対応しました。その後、DMATチームが1月30日から3日間出動になりました。
	続いて、当院の状況です。病床利用率がコロナ渦の4年間のなかで著しく低下しており、50%に近いところまで落ちました。コロナの確保病床や救急とコロナを同時に受ける体制が難しいなどの様々な要因からなるものです。
	その間、4診療科が診療・入院・手術等の停止になり、病床利用率の向上を試みているものの、なかなか上がらず、全国的に公立病院は同様の状況です。積極的に患者の受け入れを行い、今日は79.7%まで上がってます。収支バランスを考慮して、現状を維持しながら頑張っていきたいと思ってます。また、収入だけでなく、支出(救援費やエネルギー費の増加)による収支バランスの大変さもありますが、市民の皆様に迷惑をかけないようにしたいです。
	そして、4月からは休診していた脳神経外科が診療再開、7月からは耳鼻咽喉科の入院・手術が再開になります。加えて、その他の診療科も診療を強化していきます。また、産科では助産師が足りず難しいところでしたが、助産師の体制も整備してきたなかで1月から産後ケアを開始することができました。
	最後に、病院機能向上計画はコロナ等で中止となっていた見直しを始めます。当院の隣りにある社会教育センターの取壊しが決定し、取壊し後の活用については収支バランスや需要と供給を考慮して計画を立て、病院の存続に努めていきます。
3. 前回議事録の確認	
	鎌田会長より、各委員にてのちほど資料1の議事録を確認し、不明な点があれば事務局に確認するよう説明。
4. 協議事項	
(1) 患者満足度調査及び外来待ち時間調査の結果について	
【説明】 藤田診療部長 資料2に基づき説明。	
	本調査は患者サービス委員会にて行いました。結果を確認しますと、満足度調査では、特定の職員に対して接遇が悪い等の意見が多くみられ、待ち時間調査では全体の待ち時間は減少傾向にあるという結果でした。実際にコロナ患者が減っているのが現状ですが、内科・循環器内科・小児科・整形外科・リハビリ科では増加傾向にあります。

待ち時間調査のフィードバックは、診療科の部長に提示し、待ち時間減少に努めていただきます。

また、本調査の結果については当院ホームページでもご確認いただけます。

**【委員】**

待ち時間が長いと思うこともありますが、受診時に遅れている時間が表示されることが患者としては嬉しいです。

**【藤田診療部長】**

待ち時間の改善策として、逆紹介を進め患者を減らすことや医師側も待ち時間が確認できる仕組みを構築することだと思います。

(2) デジタルサイネージについて

**【説明】 横井医事課長 資料3に基づき説明。**

令和6年3月中にデジタルサイネージを1階ホール柱に設置する予定です。従来より地域連携及び情報提供が期待されており、医師会と相談し、地域医療の情報が提供できるよう掲示します。また、提携医療機関検索機能システムも備わっています。先々、スマートフォンで使えるアプリにて提供ができるように進めて参ります。

**【委員】**

病院の負担がないということですが、締結先はどのように収入を得るのか。リスクがないと言い切れるのか。

**【横井医事課長】**

本体は事業者所有で、広告費として収入を得る仕組みとなっています。他の医療機関や自治体も類似した形で設置していますので、ご指摘のようなことはないと思っています。

**【委員】**

市立病院からのお知らせには、病院の取り組み等有益な情報を掲載してほしいです。

**【横井医事課長】**

意見のとおり、連携を含め病院のトピックス等も掲載していく方向で検討してまいります。

(3) 入院・外来実績等における令和5年10月～12月の状況

**【説明】 横井医事課長 資料4に基づき説明。**

入院では、10月における4つの指標が前月比で微増したが、11月は気候の関係で全ての指標で減少に転じた。12月以降は11月と比較すると回復し、徐々に微増傾向となった。

外来では、紹介率・逆紹介率が高い実績を残したが、患者数は全体的に減少傾向となった。

**【委員】**

近隣クリニック及び新規クリニックへの紹介率向上のため、どのような働きかけをしていますか。

**【藤田診療部長】**

近隣クリニックとの会議があり、患者総合支援室と共に当院と連携していただけるようお願いしています。

**【委員】**

経営状況を考えると、紹介率は満足できる数字ではないように見えますので、目標値が低いのではないかと。

**【井上院長】**

紹介率・逆紹介率も低くはなく、近隣の地域医療支援病院と比較しても同等で十分に基準は満たしています。ただし、率ではなく数を増やし、入院に繋げていきたいです。

**【藤田診療部長】**

これ以上目標値を上げても診療報酬上の加点はないので十分かと思っています。

<b>【委員】</b>
市立病院では採血の結果が即日に出るのに対し、クリニックでは結果を聞くまで一週間かかり、さらに市立病院に紹介がされると時間と手間がかかりますので、最初から市立病院に来院したいと考える患者もいると思います。
<b>【井上院長】</b>
待ち時間に影響が出ますので、クリニックをご利用をいただき、急を要するような重症の場合には、クリニックから紹介をいただき処置を行いますので、ご協力いただければ幸いです。
<b>【藤田診療部長】</b>
クリニックで異常な数値が確認された場合には、即日に市立病院に連絡をいただけるなど地域での連携を行っていますので、安心してクリニックで受診されてよいと思います。
<b>【委員】</b>
内科のスペースが狭いので工夫してほしいです。また、血液検査の結果が出るまで1時間要するため、受診の1時間前に検査する必要を知ったので、検査時にその旨を伝えてほしい。
<b>【藤田診療部長】</b>
患者に採血時間を伝えている科もありますが、採血室の規模が大きくなり集中することがありお待たせすることがありますので、対応は検討していきたいと思います。
<b>【委員】</b>
受付終了時間の対応が診療科で異なり、1日で2科受診できる場合とできない場合は後日受診となり初診料がかかる場合があります。
<b>【藤田診療部長】</b>
受付時間を厳守する科とそうでない科で分かれているのが実情です。他科依頼を書けば初診料もいらいため、書くようにしています。しかし、受付時間を過ぎると受診ができない可能性もあり、科の方針が強く、統一されていない部分があり、そうした場合は個々に対応しているのが実情です。
<b>【井上院長】</b>
外科は午前外来、午後手術が入るため、午前の一定時間で区切るのが良いと思うがなかなか難しいところがあります。内科は午前初診をすべて診きれない状況ですので、ブースを増やしたり、初診枠を増やしたりと工夫を行い受診体制を充実させていきたい。
<b>【横井医事課長】</b>
他科依頼となった場合、院内紹介扱いとなり加算料はかかりません。基本的に11時半で受付が終了するため、状況によっては2科目をお待たせするので、状況をご説明します。
(4) 経営強化プランの進捗状況について
<b>【説明】</b> 長島経営企画室長 資料5に基づき説明。
各柱における主な実施状況を説明。
柱1：紹介率・逆紹介率ともに目標達成。近隣病院を回り、連携が取れた。
柱2：令和6年4月から医師の働き方改革が開始。時間外が月100時間を超えないよう面談を実施。
柱3：公営企業法全部適用に向けて、手続きを再開。
柱4：能登半島地震における出動。医療措置協定締結の準備。
柱5：社会教育センター跡地活用における災害・感染症対応。
柱6：引き続き病床利用率の向上に尽力。
全体を通すと、年末まで厳しい状況でしたが、1月以降は数字が上がってくるため次回の運営協議会ではいい報告ができることを期待しています。

<b>【委員】</b>
市立病院では、医師が他の病院で勤務する場合の勤務時間を把握してますか。
<b>【宮澤課長】</b>
届け出に基づき、勤務時間を把握してます。
<b>【委員】</b>
看護師の働き方改革について、市立病院では看護師の退職はどうですか。
<b>【門脇看護部長】</b>
昨年度は退職の傾向があったので、採用活動を行った結果、次年度の採用は人が集まりました。また、退職者も減少傾向です。
<b>【藤田診療部長】</b>
経験者の退職率は低いですが、新入職の退職率が比較的高いように見受けられます。
<b>【委員】</b>
医師の採用基準を教えてください。
<b>【院長】</b>
過去の就業歴はもちろん、一緒に働いた経験のある人がいれば情報を把握します。大学からの専攻医は国の方針で採用が難しい実情です。
<b>【藤田診療部長】</b>
web面接の時代になり、見分けることが難しい側面があります。
<b>【委員】</b>
サイバーセキュリティの対策はどうですか。
<b>【仁賀田事務長】</b>
まず、根幹となる部分は本庁舎と繋いでいません。また、データのバックアップについては、今年度から別で格納しています。万が一の場合があっても診療が止まらないよう対策を講じています。
<b>【院長】</b>
原則、電子カルテを使用しているPCはインターネットに勝手に繋がらないようにしてます。ただし、業者が機械の状況を確認するためインターネットに繋ぐ場合がありますので、都度機器の更新を行ってます。セキュリティ強化の一環として、バックアップを実施してます。
<b>【委員】</b>
医療措置協定について、災害時に必要な物資は病院で用意するという不平等な協定のように思えます。
<b>【院長】</b>
都より正式な回答はないが、おそらく支給されるものと認識してます。公立病院であるため、協定を締結せずとも有事の際は対応せざるを得ないので、病床確保やDMATチームを含めた人材派遣等を実施すると思います。
(5) 地域医療支援病院の実施状況について
<b>【説明】</b> 高橋患者総合支援室長 資料6に基づき説明。
10月から12月の共同利用件数は43件、救急車受入台数は665件、救急車以外の患者数は612件です。地域の医療従事者に対する研修は10月～12月に8件で、今年度は15件実施してます。
紹介率は67.3%、逆紹介率は107.3%で基準を満たしてます。地域との連携状況としては、クリニック訪問51件、年度333件と着実に実績を伸ばしてます。個別ケース対応・情報交換は185件行い、日野市立病院救急車の運用実績は、40件で年

度合計は93件です。

**【委員】**

介護保険制度における介護認定時に主治医意見書を必要としています。市立病院に意見書の作成を依頼する際、クリニックとは対応が違い、難しい部分があることを理解していますが改善をお願いしたいです。

**【患者総合支援室長】**

以前より課題として上げ、改善に取り組んでいます。まずは介護保険の流れを院内で研修を行いました。また、医師も患者を診ないと意見書を書くことが難しいという現状があり、それらを踏まえ、どういった方法で改善していくか検討していきたいです。

5. その他

日野市立病院ハラスメント防止計画の策定について

**【説明】 宮澤総務課長 資料7に基づき説明。**

当院では、過去、複数名がハラスメントによる懲戒処分を受けています。これを踏まえ改善に取り組んでいますが、ここで計画という形で作成ができました。要綱の趣旨に則り、「ハラスメント行為を許さない」という姿勢を基本に考えています。相談体制の充実、発生した事案への迅速な対応、職員研修、ハラスメントが起こりにくい組織風土の形成の4つの取り組みを軸に計画を策定しています。4つ全てに提携弁護士が携わり、相談自体の件数は多いですが重篤な相談事案は減少傾向です。引き続きハラスメントの起こらない環境づくりを進めて参ります。

**【委員】**

カスタマーハラスメントの勉強会等に参加することもいいと思います。

**【宮澤課長】**

啓発をしていきます。

・令和6年度の開催予定について

**【説明】 宮澤総務課長 次第に基づき説明。**

6. 閉会挨拶

**【挨拶】 西村副会長**

今年は1月1日より能登半島地震があり、大変な年が始まりました。日野市としても活躍していただいているということとで心強く思います。今後の災害も見据えて、病院の点検を行っていただきたいと思います。また、来年度は働き方改革・オンライン資格確認・保健師の廃止等混乱が生じることが予想されます。国の指針を信じ、日野市医師会としても市立病院と情報共有をしネットワークを構築していきたいので、ご協力のほどよろしくお願いします。